

日本学術会議物理学委員会
天文学・宇宙物理学分科会/
IAU分科会 報告

報告者：山崎典子（日本学術会議会員）

2022年9月～2023年3月

- 学術会議総会 および政府法律改正案など
 - 2022年12月，2023年2月などに内閣府からの「方針」説明が行われた。学術会議法改訂案そのものは示されていないが，今国会に提出の見込み
 - 会員・連携会員選考に学術以外の観点を必須とする可能性がある
 - 学術が，政府との問題意識・時間軸の共有が「必要」とするか，政治・経済その他の判断からは独立して、真理の探究という普遍的な価値に基づく判断を行わねばならないとするか，という点に対立がある。
 - 日本天文学会，日本物理学会，日本化学連合，日本数学界，生物科学学会連合，日本地球惑星科学連合は，2023/1/30に会長声明「日本学術会議法の性急な改正について再考を求める」を発出いただいた。相互の信頼関係の構築，話し合いの継続を求められているものと理解する。時機を得た対応に感謝いたします。
 - 政府側資料も含めサイトに公開されている。<https://www.scj.go.jp/>

2022年9月～2023年3月

- 「未来の学術振興構想」策定状況
 - 全体では194件の応募，天宇関係は，予定通りの応募がされていると認識している。
 - 評価小委員会に物理分野からは須藤靖さん，奥村幸子さんなどがはいる，グランドビジョンにまとめつつある。
- 天宇分科会では「天文学・宇宙物理学分野の長期計画 —2030-2040年代のビジョン—」をまとめている。
- 次期会員・連携会員選考について
 - 法律改訂の状況は不透明なので，通常通り2023年秋から26期となることを想定し，選考をすすめている。天宇分科会メンバーからの推薦では，天文学会に候補者リストをお願いするなど，コミュニティの意見を重視しつつ進めている。
- IAU分科会の活動報告
 - 2023年1月の分科会で，19名の正会員，3名のジュニア会員をIAUに推薦と決定
 - APRIM 2023 @郡山 8/7-11 **abstract締め切り3/17**
 - IAU Symposium 380 @鹿児島 3/20-24
 - NAECその他の活動も精力的にすすめられている。